光晴会病院化学療法委員会
2024 年 3 月 1 日改訂

ペメトレキセド+シスプラチン療法

患者番号:　　氏名:　　性別：　　年齢:

がん種（適応）	悪性胸膜中皮腫		
開始年月日	年　　月　　日		
1 コース期間	21　日間		
体格	身長 cm	体重 kg	体表面積　　㎡
嘔気・嘔吐リスク	高度	制吐剤	アロカリス注+パロノセトロン注 +デキサート注 9.9mg +デカドロン錠 (4) 2 錠 2×(day2-3)
特記事項			

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール
ペメトレキセド	mg（500mg/㎡）	10 分	Day1
シスプラチン	mg（60～75mg/㎡）	2 時間	Day1

【処方が必要な内服薬】

パンビタン末　1g1×　　初回投与 1 週間以上前から連日経口開始
デカドロン(4)　2T2×朝昼（ペメトレキセドの前 1 日+シスプラチン投与翌日～2 日間）
＜注射＞
メコバラミン注 500　　2A
（初回投与 1 週間前から 9 週ごとに筋肉内投与だがペメトレキセドと同日に投与可）

□HBs 抗原(＋) → 消化器内科紹介
□HBs 抗原(－) → □HBs 抗体(－)and HBc 抗体(－)
□HBs 抗体(＋)and/or HBc 抗体(＋) → □HBV-DNA 定量(－) → 3 ヵ月毎 定量
□HBV-DNA 定量(＋) → 消化器内科紹介

指示医師サイン＿＿＿＿＿＿＿＿